

## 「砂糖文化を広めた長崎街道~シュガーロード~」



### 1 ストーリーの概要

室町時代末頃から江戸時代、西洋や中国との貿易で日本に流入した砂糖は、日本の人々の食生活に大きな影響を与えた。なかでも、海外貿易の窓口であった長崎と小倉を繋ぐ長崎街道沿いの地域には、砂糖や外国由来の菓子が多く流入し、独特の食文化が花開いた。現在でも、宿場町をはじめ、当時の長崎街道を偲ばせる景観とともに、個性豊かな菓子が残されている。

輸入砂糖や菓子と関わりの深い長崎街道「シュガーロード」を辿ると、長崎街道の歴史だけでなく、400年以上もの時をかけて発展し続ける砂糖や菓子の文化に触れることができる。

### 2 ストーリーを構成する主な文化財

- ・全 域：長崎街道
- ・長崎市：出島和蘭商館跡、長崎くんちの奉納踊、カステラ、有平糖<sup>あるへいとう</sup> など
- ・諫早市：諫早おこし、諫早おこし道具
- ・大村市：へこはずしおこし、おこし製造道具、大村寿司
- ・嬉野市：嬉野市塩田津（国選定重要伝統的建造物群保存地区）、逸口香<sup>いっこっこう</sup>、金華糖 など
- ・小城市：村岡総本舗羊羹資料館、普茶料理、小城羊羹 など
- ・佐賀市：丸ぼうろ<sup>すがだい</sup>、寿賀台、菓子仕方控覚（鶴屋文書）など
- ・飯塚市：銘菓ひよ子、千鳥饅頭、なんばん往来など
- ・北九州市：福聚寺<sup>ふくじゅじ</sup>、常盤橋<sup>とさわばし</sup>、小菊饅頭、金平糖、くろがね羊羹 など

### 3 申請自治体

長崎市、諫早市、大村市、嬉野市、小城市、佐賀市、飯塚市、北九州市

### 4 シュガーロード連絡協議会について

シュガーロードの歴史と文化を活かし、西日本一帯の地域の活性化を目指して、平成20年10月31日に「シュガーロード連絡協議会」を設立しました。現在、3県（長崎、佐賀、福岡）と8市（長崎市、諫早市、大村市、嬉野市、小城市、佐賀市、飯塚市、北九州市）が加入しており、菓子業界や関係機関とともにシュガーロードに関する情報の交換やPRなどを行っています。

- ・観光発信ガイダンス設備などの活用整備
- ・ホームページ・パンフレットの多言語化などの情報発信事業など